

【帳票3】 エコオフィス、本来業務における環境配慮、独自施策の取組状況

所属名: 環境モデル都市推進課

所属職員数: 10 人

記入者(エコ推進員)名: 竹田 有希

確認責任者(エコ推進責任者)名: 川島 健司

<p>【取組項目について】</p> <p>※取組項目一覧から3つ以上選択し、目標を設定してください。</p> <p>①No.1～10: エコオフィスの具体的取組例を参考に記入してください。</p> <p>②No.11: ①以外の取組を実施する場合に記入してください。</p> <p>③No.12～19: 帳票2で記入した計画で定める施策以外で実施する場合は記入してください。</p> <p>④No.20,21: 上記以外で本来業務における取組、その他の独自施策を実施する場合は記入してください。</p>	<p>【記入要領】</p> <p>①取組項目一覧シートから、今年度取り組む項目No.を選択します。</p> <p>②取組内容が自動入力されます。</p> <p>③今年度の目標・具体的内容を記入してください。</p> <p>※設定にあたっては、極力、進捗状況を定量的に把握できる数値目標を用いるように努めてください。</p> <p><取組年度終了後(平成30年4月頃を予定)></p> <p>④取組実施後、進捗状況と課題と改善方針を記入してください。</p> <p>※取組の進捗状況は、設定した目標に対しての結果を具体的に記入してください。</p>
---	---

項目NO.	取組内容	目標	取組状況	
		今年度の目標・具体的内容	取組の進捗状況	課題と改善方針
1	職場内で省エネルギー(電気、ガス、灯油などの利用削減や効率的利用)に取り組む	年間を通して昼休み消灯を徹底して実施する。 実施率: 100%	昼休みは、来客用カウンターの付近以外は消灯を徹底し、節電に努めた。 実施率: 100%	環境施策を実行する課として、他所属への呼びかけにも力を入れて取り組む。
3	職場内で紙使用の抑制再使用リサイクルに取り組む	イベント実施時や環境啓発事業に使用するチラシについて、効果を再検討し、印刷枚数を見直す。 外注するチラシの印刷枚数をH28年度よりも少なくする。	チラシを外注する場合、配付先について複数の職員で相談を行いながら念入りに枚数の検討をおこなった。 ◆チラシ印刷外注枚数 H28年度: 18,000枚 H29年度: 6,100枚 チラシによる啓発を実施していた省エネ家電買換え補助事業がH28年度で終了となったことから単純比較はできないが、同じ事業を実施するにあたっては、配付数の見直しを行い、無駄のない発注を実施した。	今後も、チラシ等を外注する際には、前年度の使用実績をふまえて、無駄なく効果的な発注をおこなう。
6	公用車利用による環境影響の抑制(職員の勤務中の公用車利用の抑制、エコドライブ、自転車の利用や低公害車の導入など)を実施する	環境モデル都市推進課の所有する電気自動車の貸出が可能であることを庁内掲示板で周知し、利用を促進する。 H28年度よりも利用率5%向上を目指す。	環境モデル都市推進課が所有する電気自動車の積極利用を進めた。 帳票3別紙で「実施した」と回答した所属数は減ったが、利用実績回数を増やすことが出来た。 ◆「実施した」と回答した所属数 H28年度: 14所属 H29年度: 11所属 (対前年比22%減) ◆電気自動車利用実績 H28年度: 48回 H29年度: 87回 (対前年比	庁内全体で使用できるように、各課と早急に調整を進める。

項目 NO.	取組内容	目標		取組状況	
		今年度の目標・具体的内容		取組の進捗状況	
12	公共施設における再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)の活用を検討し、導入する	市民出資による太陽光発電所事業を展開する(一社)市民エネルギー生駒と連携し、市民共同発電所4号機を竣工する。		目標どおり、市民共同発電所4号機の導入に向けた支援をおこない、学研高山地区に出力85kWのシステムを設置した。	
20	本来業務における環境配慮	◆環境教育の推進 昨年度、近畿大学総合社会学部環境・まちづくり専攻の学生と連携して企画立案した参加型出前授業を市内小学校2ヶ所で実施し、子どもたちの行動変容を促す。		近畿大学の学生9名と連携して「地球温暖化」をテーマに企画立案した参加型出前授業を生駒南小学校で5年生(79名)を対象に実施した。授業では、大学生がファシリテーター役となり、グループ分かれて、「エネルギーの無駄づかいをなくすために自分たちにできること」をまとめ、発表をおこなった。 授業後に実施した参加者アンケートでは、9割の児童が、「グループでまとめた自分たちができていることを実際にやっている」と回答した。	
20	本来業務における環境配慮	◆COOL CHOICEの普及啓発 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、家庭や個人の自発的な地球温暖化対策への取組を進めるため、普及啓発を図る。 普及啓発事業の実施:4事業以上 COOL CHOICE賛同者数:400人以上		家庭や個人の自発的な地球温暖化対策への取組を進めるため、年間を通して6以上の事業でCOOL CHOICEの普及啓発を図った。 COOL CHOICE賛同実績:団体12、個人320	
21	その他独自施策	食品ロス削減を目指し、市民団体と連携して啓発イベント(フードドライブ等)を実施する。開催回数:1回		生駒市環境基本計画推進会議(ECO-net生駒)と連携を図り、3月19日~21日にかけてフードドライブを開催した。 1,251点、502.5kgの食品が集まり、フードバンク奈良を通して、市内の福祉施設やこども食堂等に届けた。	
				今後も、市民団体と連携し、市域における太陽光発電活用を促す。	
				学校側のニーズと企画の内容が合致しているか、教育委員会とすりあわせを行いながら企画を進めた。しかし、出前授業のメニューが多い中、新設したメニューを学校に申し込んでもらうことに苦慮したため、検討が必要。	
				賛同数の目標達成率は8割程度に留まった。引き続き、自発的な取組促進に向け、工夫して事業を展開したい。	
				引き続き市民団体・環境保全課と連携を図りながら、継続して開催する。	